

野球スポーツ少年団「コンバットジュニア」の監督佐藤 徳衛さんとお会いしました。

現在は三春町の沢石仮設にお住まいですが、震災直後は家族もばらばらになり、12日にリフレで再会し、その後春山小学校、ビッグパレットと避難しました。富岡町では、13年間コンバットジュニアの監督をされていた佐藤さんは、今でもその頃の子供達に会うと「監督！」と声をかけられるそうです。小学校の頃から野球が大好きで、監督になったのも好きな野球を子供達と一緒にやって、その楽しさを伝えたいと思ったからです。避難生活をしている今でも、壮年野球チームに入り、試合に出場しています。現在、活動休止中のコンバットジュニアですが、いつか集まってまた野球ができれば・・・と思っています。

監督をしている時は、いつも子供達から教わる事が多かったという佐藤さんですが、「今の富岡町の子供達に一言」とお願いすると「どんな時でも、自分の考えを持って前向きに楽しく過ごせる人生を送ってほしい。ずっと応援しています。」と力強く話されました。佐藤さんご自身、これまでは平日が休みのお仕事でしたが、土日休日に変わったので、地元の少年野球チームの練習に参加したい・・・と、前向きに人生を考えていられることが伝わってきました。終始笑顔の中に、早くまた富岡の子供達と野球がしたい!というお気持ちがいじみ出ていました。

おらほの自治会長 このコーナーでは、仮設・借り上げの自治会長さんのお話をご紹介します。いわきすみれ会 田中美奈子さん

富岡では本町にお住まいで「パレス華の樹」の支配人として13年お勤めされていました。また、ロータリークラブにも加入しており、震災の2011年には、ロータリークラブの会長として活躍していました。

いわきすみれ会を設立したのも「なんとか富岡町の皆さんとつながっていき、一日一日を元気に過ごしていきたい」と思ったから」とのこと、女性の多い「すみれ会」ならではの視点と行動力で、楽しい会を作りたいと話されました。現在64世帯、約150名程の方が登録されていますが「できるだけたくさんの方と一緒に活動したい」と話されていました。「今の趣味や、楽しみは?」という質問に「今は、自治会の活動を充実させるために毎日忙しいの...自分の趣味?なんだらう?と、自分の事より人の為に尽くす方だと感じられる田中さんらしい答えが返ってきました。最後に富岡町の皆さんにメッセージをお願いすると「皆さん一日一日を大切に前向きに過ごしていきましょう。」と笑顔でこたえてくれました。

みんなの広場 このコーナーでは、町民のみなさんの詩、俳句、短歌、写真、手作り品などの作品を紹介します。



手編み人形が勢ぞろい!



人形にかき入れ、制作した方の中から3人と記念に!

毎週水曜日におだがいさまセンターで編み物教室が開催されています。今回ご紹介させて頂くものは「富岡編み物の会」の方々が編んだ手作りの作品です。ひとつひとつが違う表情を持つとても愛らしい人形です。出来上がった人形を一同に並べると、周りにいた住民の方がみなとってもかわいい、素敵と絶賛しておりました。

いってやっぺみでやっぺ お知らせコーナー 12月中旬 12月下旬

喫茶つつじ

おだがいさまセンター 12月13日、20日、22日、27日、29日 (毎回午前10時～12時)

南1丁目応急仮設集会所(富岡側) 12月22日、24日 (毎回午前10時～午後1時)

*みなさん気軽にお茶を飲みに来てください。

福島の子供たちへ元気をお届けin郡山

日時 12月15日(土) 13:00～16:00

開催場所 おだがいさまセンター

内容

【講演会】

演題「はやぶさ君 感動をありがとう! ~小惑星探査機「はやぶさ」奇跡の帰還~」

【イベント】

宇宙服を着てみよう!! 他

*みなさん是非ご参加下さい。

いわき平交流サロンにての開催イベント

内容 ゆる体操 日時 12月19日(水) 10:30

内容 クリスマス会 日時 12月21日(金) 時間未定

内容 健康相談 日時 12月26日(水) 13:30

内容 親子で桜染め年賀状 日時 12月26日(水) 14:00

いわき四倉交流サロンにての開催イベント

内容 ミニ鏡餅作り 日時 12月27日(木) 10:00

「富岡町のテーマソングをつくろう!」

富岡町の思い出募集

【応募方法】

応募箱(各仮設住宅内集会所に設置)へお入れ頂くか、ラジオ福島にて応募を預かっております。(メール:song@rfc.jp, FAX:024-535-3460)



めでやっぺ!

『ちいっちゃんえびす講市』

11月25日(日)に富岡町仮設住宅内で富岡町商工会後援により『ちいっちゃんえびす講市2012』が開催されました。大正12年から続く伝統ある行事ですが、震災の影響により地元で開催できず、さびしい思いをされている方々がたくさんいらっしゃる中、昨年引き続き行いたい計画していました。そんな折、山佐株式会社様より「富岡町のテーマソングをつくろう!」というお話があり、その制作告知を「えびす講市」とジョイントしようということになり、ラジオ福島様をはじめ、多くの皆様のご協力により今年も行うことができました。

当日は天候にも恵まれ、開会セレモニーでは、富岡町・遠藤勝也町長、川内村・遠藤雄幸村長、山佐株式会社・吉国純生様、富岡町仮設自治会・遠藤武会長、おだがいさまセンター・天野和彦センター長による恒例(?)のくす玉割りも行われ、集まった大勢の方の拍手のもと盛大に開催されました。

会場では、村井敏郎さんと普天間かおりさんによるライブコンサートや住民との交流会、富岡町の皆様による作品展示、足湯とたくさんの催しものと、屋外では、水餃子、焼きそば、焼き鳥、カレーライス、甘酒などがメニューを並べ、飲食物のほか、エコたわしやティッシュケース等の町民の手作り作品の販売も行われました。仮設住宅にお住いの方以外にも多くの方が訪れ、それぞれのコーナーを回るなど、来て下さったみなさんが楽しい時間を過ごされていました。

フィナーレには、老人クラブの踊りの会による踊りと恵比寿様(富岡町の渡辺長一さん)の舞も行われ、最後には投げ餅&抽選会もあり、とても賑やかな一日になりました。

ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。

...ご協力いただきましたみなさま... 山佐株式会社・ラジオ福島・富岡町商工会・国際医療福祉大学・えびすこ市場・FUKUSHIMA 足湯隊・おだがいさま煙隊・パソナ(順不同)...



開会セレモニーにてくす玉

センターからカレーライス!!

恵比寿様

村井敏郎さんと普天間かおりさん

手作り作品の販売

足湯はきもちいいね~

えびすこ市場からたくさんの品が並びました

国際医療福祉大学から、芯から温まる水餃子

みごとな作品の数々

畑が育てた野菜の販売

老人クラブの踊りの会

ラジオ福島からの甘酒でポカポカ

飯館村視察

11月21日(水)第9回富岡町被災者支援連絡協議会が開催されました。今回は視察研修で、飯館村の被災者支援の取り組み等について飯野町にある飯館村役場を訪問し、現在の飯館村の状況と支援についてお話をうかがいました。お昼は、飯館村周辺町村の女性農業者で行っている「かーちゃんのプロジェクト」の皆さんが作ったお弁当や漬物をいただき、その後、松川第一仮設に移動し「までい着」づくりのお話も佐野ハツイさんからうかがいました。お部屋から出ようとならない方を誘うことから始まった「までい着」づくりと故郷を想うお話しに感動しました。参加した17名のメンバーも飯館村の行政のとらえ方をきいて「それぞれの立場でまだまだ「できること」「やってはいけないこと」を知り、学ぶことが多かった。」と帰りのバスの中で発表しました。初めての視察研修は実りある研修となりました。



までい着づくりのお話に聞き入る

佐野ハツイさん

中越市民防災安全士会訪問

11月14日(水)に中越市民防災安全士の皆様(40名以上の方)が、「今こそ、東北へ、東北元気ツアー」と称して、中越大震災を経験した私達が出来ることを少しでも伝達し復興の輪に参加していきたいと、今回富田応急仮設を訪問しました。



震災当時について説明している様子



中越市民防災安全士の皆さんと記念写真

おだがいさまセンターの青木、吉田による震災当時の話に、災害を風化させないためにも本日得た内容を、長岡で声を大きく語って行きたいとのことでした。

なお、中越市民防災安全士会より義援金を頂きました。この義援金は、富岡町の生活復興支援に役立てたいと思います。ありがとうございました。

愛知県の中学生来訪!!

11月10日(土)郡山市民文化センターで行われた日本学校合奏コンクール2012全国大会グランドコンテストin郡山に参加した豊橋市立牟呂中学校(愛知県)のオーケストラ部の皆さん(生徒73名、保護者、先生含め合計90名)が、おだがいさまセンターに訪れました。当初、南一丁目応急仮設住宅で行われた芋煮会で演奏する予定でしたが、あいにく雨のため披露はできませんでした。残念ではありましたが、せつかく来て頂いた中学生のためにとセンタースタッフによる富岡町の説明や震災の当時の話に、みな聞き入っていました。

最後に代表の生徒から「胸が痛みます。帰ったら学校の皆にこのことを伝えます。」という感謝のこぼれをいただきました。演奏は、後日CDで送ってくださるということです。



豊橋市立牟呂中学校の生徒さん

おだがいさま工房便利

「さをり織展を見学!」

11月10日(土)にミューカルがくと館で、以前さをり織りの講師で来ていただいた高橋晃子先生の主催で、さをり織り作品展が開かれ、見学に行ってきた。小物から衣類までさまざまな作品を展示販売しており、実際に作品を手にとって確かめることは、貴重な体験となりました。「作品を見たら自分たちも早く形にしたいなあ」と思いました。製品制作により一層意欲が湧いてきました。

お似合いですね!

美しい作品にうっとり

FM便り

～パーソナリティ紹介～ペンぎんナッツ

「おだがいさまラジオランド」(周波数76.9MHz、毎週曜日～金曜日の午後7時～9時に生放送中)金曜日担当のペンぎんナッツのお二人は、「あなたの街に住みますプロジェクト」の福島県担当として、福島に住みながら活動しているお笑い芸人さんです。地元のテレビでも人気のコンビ、ラジオでも毎回楽しい番組を届けてくれています。

ラジオの力で沢山の人達を笑顔にするため、これからもがんばっちゃってもおいんじゃないのっ!!!

いなこのうすげん



中村 陽介さん

自分たちができる事を1つ1つやっていきたいです。福島は第2のフルサトです!!これからもよろしくお願ひします。

「おだがいさわかモーニング」パーソナリティ変更について～水曜日担当紹介～仲山弘子さん



仲山 弘子さん

富岡町出身のパーソナリティ第一号ということで、責任を感じています。伝える事で、誰かと誰かの架け橋になれば嬉しく思います。皆様からのたくさんの情報をお持ちしています。

メッセージ等受付中! 郵便 〒963-8041 郡山市富田町字若宮前32「おだがいさまFM」宛 FAX 024-935-3334 メール 下記「おだがいさまFM」HP内のメールフォームより送ってください 「おだがいさまFM」HPアドレス <http://odfm.net/>

おだがいさまファーム通信

畑野菜販売してみました

おだがいさま畑の皆さんが育てた野菜を、富田仮設で行われた「ちっちゃなえびす講市」の中で販売しました。畑の皆さんが富田と片平で丹精込めて育てた無農薬の白菜や大根、ちぢみ菜など、採れたて野菜という事であつという間に完売しました。畑隊メンバーからは「一生懸命に育てた野菜をたくさんの人達に喜んで買ってもらえることができ本当に嬉しかったよ。」と笑顔で話してくれました。

美味しい!買って行って～



ブラウライスコンサート

富岡わが町も歌って下さいました

11月9日(金)おだがいさまセンターでジャズミュージアンのブラウライスのお二人のコンサートがひらかれました。げんさんの軽快なトークに笑いが絶えず、そしてまいさんの優しい歌声に、皆さん「心が癒され、いい時間を過ごせた」と話していました。

自治会秋祭り&芋煮会(郡山市内各仮設住宅で開催)

それぞれの自治会の皆さんが工夫を凝らしたイベントによって、住民の皆さんも楽しいひと時を過ごしました。



南一丁目応急仮設住宅の芋煮会...11月10日(土)



富田応急仮設住宅の秋祭り...11月3日(土)



緑ヶ丘応急仮設住宅の芋煮会...10月28日(日)

味の素料理教室(いわき平交流サロン)

11月24日(土)、いわき平交流サロンで味の素料理教室が行われました。当日の参加者は19名で、エプロンに三角巾をつけながらも、久しぶりの再会に嬉しい会話がはずんでいました。今回のメニューは「じゃこご飯」「小松菜とエノキダケのおひたし」「鮭の餃子」の三品で、どれも簡単にできて栄養価が高く、参加者からは「なるほどね、こういう使い方もあるんだ」「家でもつくってみるわ。」といった声があがりました。12月の味の素料理教室は、15日県北(杉の目学習センター)と16日大玉村仮設です。



参加者の皆さんとってもいい笑顔

「第4回 生涯学習講座 星の話を聞こう」



説明に聴き入る皆さん

福島県生涯学習課の「被災者への学びの支援」事業として、第4回目の富岡町生涯学習講座が11月13日(火)に行われました。今回は、郡山市ふれあい科学館で秋の星座のお話を聞きながらプラネタリウムで星空を鑑賞するという企画でした。現地集合ということでこれまでの講座に比べて参加者は3名と少なかったのですが、ふれあい科学館の安藤さんに天文学の専門的な知識を、わかりやすく楽しく話していただき、笑い声の絶えない学習になりました。ちなみに郡山市のビッグアイ23階にあるプラネタリウムは世界で一番高い所にあるプラネタリウムで、ギネス認定を受けています。機会があればぜひ皆さんも出かけてみてください。(65歳以上は100円です。)

とっても素敵なプラネタリウム



県北地区居住富岡町民自治会、臨時総会開催!

11月16日(金)福島県青少年会館で午後1時から、福島市及び県北地区在住富岡町民自治会臨時総会が開かれました。臨時総会に先立って、富岡町副町長と総務課生活支援課など関係課長からの「富岡町の状況・国に要請した貴町の時期等」の説明と質疑応答がありました。副町長から「具体的な復興の行程表を作りたいと、国に強く要望している」との説明があり、参加

者からは「希望的観測ではなく現実的な指針を町は示して欲しい。できることできないことを明確にして、その上でどの道を行くか町民の意志に任せて欲しい。」等と、熱心な討議が続きました。臨時総会では、堀川潔会長、末永九副会長、三瓶一義事務局長から、県北自治会の経過報告と今後の課題が提起され、自治会活動がより活性化し福島市及び県北地区に居住する町民の交流の基点となることを確認して終了しました。